

# 社 会

## 教科のねらい

- (1) 基本的人権を守り、平和的・文化的な社会をつくるために、人間の尊厳と民主主義の原理に基づいた、たしかな学力と考え方を身につける。
- (2) 人類や日本の課題を明らかにし、その解決方法を探るために、社会の現象とその発展を科学的に把握し、情勢や資料を自主的・客観的に分析できる学力を身につける。

地理 B	単位数 3	予定時間数 105時間
------	-------	-------------

## 1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・系統地理からのアプローチによって、現代世界の地理的認識を深める。</li> <li>・現代世界が抱えるさまざまな課題を理解し、解決に向けての取り組みを考察する。</li> </ul>
使用教科書・副教材 等	教科書：『詳解地理 B』（二宮書店） 地図帳：『新詳高等地図』（帝国書院） 資料集：『新編地理資料2018』（とうほう） 問題集：『サクシード地理』（啓隆社）

## 2 学習計画および評価方法

学期	学 習 内 容	月	時数	学習のねらい	考 査 範 囲
第 1 学 期	※ 3 月特編授業（3 時間） 地図投影法・時差・統計地図	3	3	※地理の授業への導入。	[中間考査] 教科書 pp. 6～30 pp. 32～55
	自然環境 地形 地形図の読図の基礎知識	4	9	世界の地形に着目し、世界の自然環境の特色を理解する。	サクシード地理 pp. 4～29
		5	7		
	自然環境 気候 自然環境問題	6	13	世界の気候を中心に総合的に自然環境の地域性を考察する。	[期末考査] 教科書 pp. 56～87 サクシード地理 pp. 30～51
	[ 課題・提出物 ] ・ 考査後に、授業プリントを提出。 ・ 考査後に、問題集・ワークブックを提出。  [ 第 1 学期の評価方法 ] ・ 定期考査を基本とし、出欠席および提出物、授業への取り組みなどを総合的に判断する。				

第2学期	資源と産業 農林水産業 ※世界の農業地域と関連させる	7 8 9	9 2 8	世界の農業・水産業に着目して、現代世界を大観し、更に現代社会の特色を考察する。	[中間考査] 教科書 pp. 88～103 サクシード地理 pp. 52～71
	資源と産業 資源・エネルギー 工業 ※世界の工業地域と関連させる 流通と消費	10 11	12 12	世界の資源や工業に着目して、現代世界を大観し、さらに各地域を通じて現代社会の特色を考察する。さらに、地球環境問題を理解する。	[期末考査] 教科書 pp. 104～127 pp. 127～139 サクシード地理 pp. 72～83 pp. 84～95
	[課題・提出物] 夏期休業中 (1) 問題演習プリント ※夏期休業明け実力考査にて出題(7月の授業内容も実力テストに含む) (2) 考査後に、授業プリント・問題集を提出				
[第2学期の評価方法] ・定期考査を基本とし、出欠席および提出物、授業への取り組みなど総合的に判断する					
第3学期	人口と村落・都市 人口 村落・都市 ※地形図の読図と関連させる	12	10	地球規模化する人口問題を学び現代社会の特色を考察する。 村落・都市に着目して、現代世界を学ぶ。	[実力考査] 教科書 pp. 140～149 pp. 150～163 サクシード地理 pp. 96～99 pp. 100～107
	生活文化と民族・宗教 衣食住 言語と宗教 民族と国家  ※3月特編授業(3時間) オセアニアの地誌	1 2 3	8 8 3	地球規模化する民族・領土問題を学び、現代社会の特色を考察する。 グローバル化した現代社会の結びつきを考察する。  ※3年の授業にむけて準備。	[期末考査] 教科書 pp. 164～169 pp. 170～173 pp. 174～180 サクシード地理 pp. 108～109 pp. 110～113 pp. 114～119
	[課題・提出物] 冬期休業中 (1) 問題演習プリント (2) 1・2学期の復習 (3) 考査後に、授業プリント・問題集を提出				
[第3学期の評価方法] ・定期考査を基本とし、出欠席および提出物、授業への取り組みなど総合的に判断する。					
[年間の学習状況の評価方法] ・すべての定期考査・実力考査を基本とし、一年間の授業時の取り組み姿勢などを考慮し、総合的に判断する。					

### 3 授業を受けるにあたっての注意事項

(1) 授業の用意をきちんとおこなう。

①教科書・地図帳・資料集など、指示された教材をすべて用意すること。

(2) 授業時のマナーを守る。

①遅刻をしない。

・チャイム前に授業の準備をして着席する。

・授業開始時に座席にいない者は欠席扱いとする。

※遅刻した者は、授業終了後に遅刻の理由を申し出ること

申し出のない者はそのまま欠席扱いとなる

②携帯電話の取り扱い

・授業にもってこない。登校したらロッカーに入れることになっているはず。

③その他

・飲食・ガム・あめなど禁止、帽子・コート等を着たままでいない。

### 4 学習のポイント

(1) 授業の進め方

授業の進路は『学習の手引き』の考査範囲に沿って進めていく。

(2) 家庭での学習のしかた

①教科書を一通り読みこなすこと

・センター試験の基本はまず教科書。教科書を読んで(2～3回)、受験に必要な内容を確認し、基本を固める。教科書中の図や資料にも注意。

②問題集を使用し、基本の確認をおこなう

・『サクシード地理』を利用して考査に向けて、復習を進めること。

・1冊の問題集を必ず最低3回はおこなう。問題集は毎日やる必要はないが、計画的に、期間を決めて集中的にこなすのがよい。

③地理は決して暗記科目ではない

・暗記しなければならないことも多々あるが、なぜそうなるかという因果関係や背景を理解することが大事である。

④地図帳・統計資料の活用

・初めて聞く地名やニュースでよく出る地名などについて、こまめに地図で場所を確認する。センター試験では、資料を読み取る力が重要であり、ふだんから教科書の図や統計資料を丁寧に確認する習慣をつける。

・時間の許す限り、新聞やテレビニュースなどに目を通すこと。視野を広くし、地理的な事象に興味をもつことが肝要(国際関係・環境問題・日本のことなど)。

⑤定期考査・問題集・模試の問題など、できなかった箇所をそのまま放置しない。

・できるまで復習し、くり返し確認することが必ず基礎力養成となる。

(3) その他

授業内容等不明な点があれば、そのままにせず積極的に質問すること。